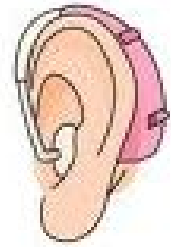


冬の補聴器トラブルに気を付けよう

結露

電源を切っている冷え切った補聴器を暖かい室内に持ち込んだ場合は、内部に結露している場合があるので、すぐにスイッチを入れず、室温になじんでから使用するようお願いします。（補聴器を使用中の場合は、内部に結露が生じることはあまりありません。）結露が補聴器の外側に付く場合もあります。外側の結露は、夏補聴器用の汗取りカバーなどの対策が有効です。



電池

電池が冷えていると、化学反応が進みません。また、締め切った部屋で、火気を使う暖房器具を使用し続けると、二酸化炭素が増えて、電池の消耗が激しくなります。部屋の換気が大事になります。

風

冬の風は強くピューピュー吹きます。この風の音がうるさく感じる子どもさんもいるようです。こんな時は、風邪よけ（防寒用）の耳カバーが有効です。補聴器ごと耳を覆ってくれるゆとりのある物を選んでください。



保護者学習会



10月20日（水）の幼稚部保護者講座は、小学部の授業参観を行いました。2松の国語では先生の新出漢字に関する身の回りの語いの丁寧な押さえ方を、3・4年の社会科では発表活動を通した子ども同士が学ぶ形でのコミュニケーション活動を、6松の算数では先生の説明を手掛かりにしながら文章表現に留意した問題解決方法を理解する子どもの様子をそれぞれ参観することができました。

参観後、小学部主事の矢野由美先生からは、小学部の教科学習を進める上では生活リズムの確立が不可欠であること、家庭学習の定着や忘れ物防止のために目配りをする必要があることなど、就学後に家庭で気を付けることについてのお話をいただきました。

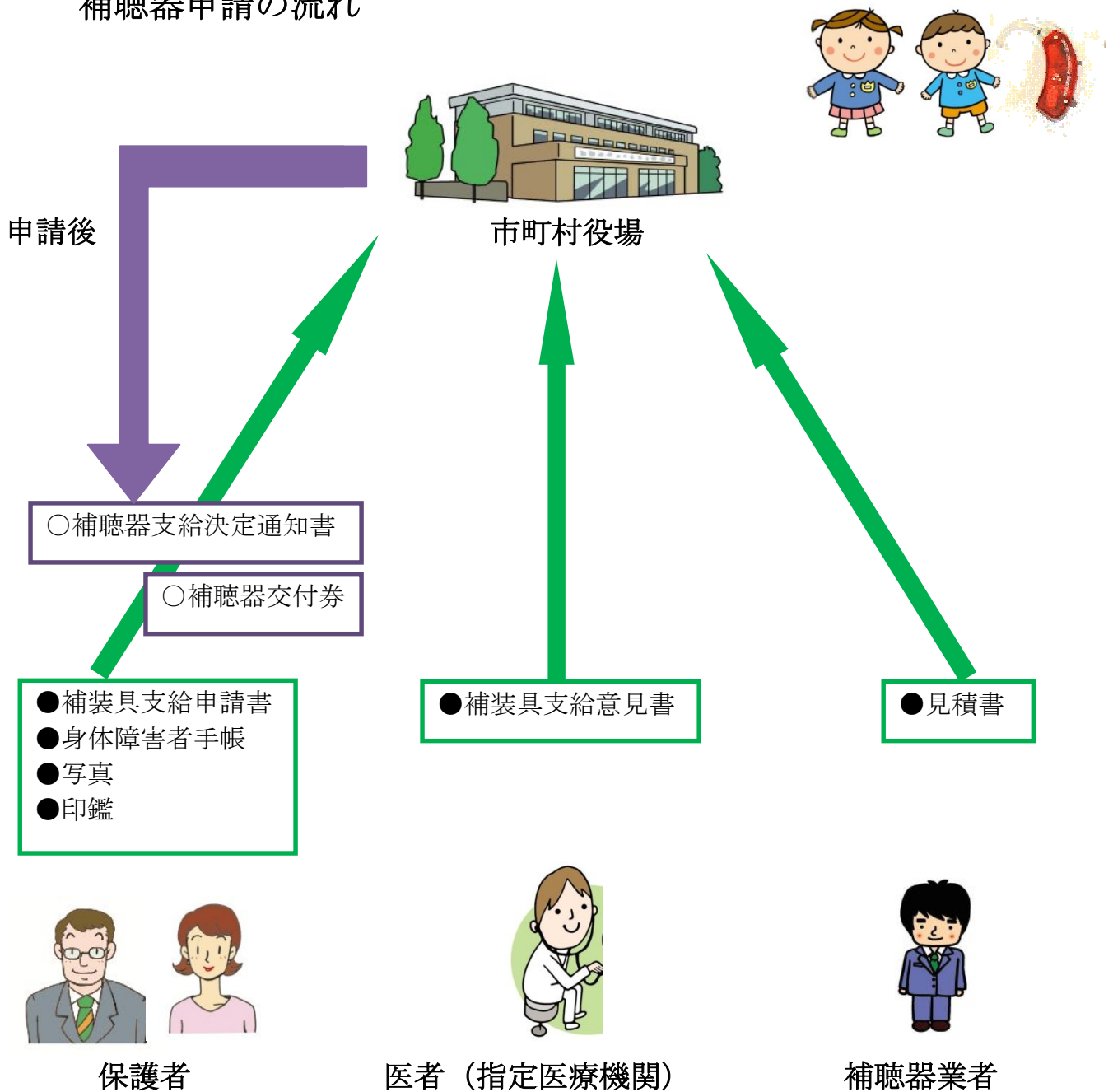
補聴器申請について

補聴器の耐用年数は5年とされています。本校では、小学部1年と6年、高等部3年を目安に申請を行っています。

補聴器は障害者自立支援法に基づいて交付されます。18歳未満の対象者は、教育的な配慮から補聴器2台の交付が認められます。18歳以上になると、基本的には1台の交付しか認められないので注意が必要です。

福祉法対応の補聴器であれば、1割負担で購入できます。

補聴器申請の流れ



研修会の御案内

松山聾学校・『第2回学校公開』が、平成23年1月22日(土)に行われます。外部の方にも聴覚障害教育に対する関心を深めていただくために、どなたでも参観ができるよう企画しています。

学校公開に併せて、下記の講演会を実施します。関心のある方は、ぜひ足をお運びください。研修会への参加を希望される方は、本校へお申し込みください。

移動母子教室（聴覚障害者教育福祉協会 主催）講演会

演題 「聴覚障害者の社会自立における現状と課題」

講師 木村 澄蔵 先生

(社団法人 茨城県雇用開発協会 障害者雇用指導役・障害者雇用技術顧問)

期日 平成23年1月22日(土) 13:45～15:15

会場 松山聾学校（寄宿舍一階 娯楽室を予定しています。）

イベント紹介



★松本竣介（洋画家）の特別企画展「松本竣介 その透明な生」開催

玉川近代美術館（今治市玉川町大野甲 86-4）で開催中。
油彩画や デッサンなど 40 点の作品を展示。平成 22 年 12 月 19 日（日）まで。

観覧料は一般 700 円、高校生・大学生 500 円、小中学生 350 円

松本竣介（1912～1948 年）さんは、中学時代に流行性脊髄膜炎にかかり、聴覚を失った方です。戦時中、芸術家の創作活動までも国策の一部に取り込もうとする軍部の姿勢に対し、異議を唱えたことなどから、「抵抗の画家」と呼ばれることもあります。戦時中の疲労や栄養不良がたたって健康を害し、36 歳の若さで亡くなりました。

書籍紹介

● 『手話居酒屋ふさおーありがとうお客さん 聴こえない俺が頑張れた』

吉岡 富佐男／著 ワニブックス出版 定価1365円（税込）

開店10周年を迎える手話居酒屋のマスターが語る波乱万丈、感動いっぱいの人生物語。

● 『聴こえないピアニスト』

宮本まどか／著 幻冬舎 定価1470円（税込）

リズムなどが取りにくい聴覚障害者の弱点を克服するために習い始めたピアノ…それが人生を変えたという手記です。耳の不自由なピアニストとして、レッスンの日々をつづった『風のレッスン』（静岡新聞社）に続く著書です。

● 『ロンリーバタフライ』

岡田 絵里香／著 集英社 定価1365円（税込）

聴覚障害の岡田さんが書いた小説で上巻になります。下巻に続く内容となっています。「聾者・いじめ・母の殺意・家庭崩壊・ホームレス生活など」ちょっと過激な人生を描いたフィクションです。もう 私は、怖いものなんてなにもない！と人生のマイナスカードを1枚1枚プラスへ変換する パワーに満ちた物語。

● 『アメリカ聴覚障害教育におけるコミュニケーションの動向』

草薙進郎・齋藤友介／著 福村出版 定価5670円（税込）

アメリカにおける人工内耳装用児の現況や、口話教育、トータルコミュニケーション、二言語教育の動向など最近のコミュニケーション方法について、歴史的な流れに沿いながら、多くの文献を紹介してくれています。

